



武蔵大学

2026年度入学者対象

武蔵大学 総合型選抜入学試験 募集要項

経済学部／人文学部／社会学部／国際教養学部



2026年度入試の主な変更点

新設する総合型選抜入試

社会学部 【ゼミ力重視方式】

一定の学力を前提に、社会学部で主体的に学ぶ意欲や適性、特にゼミでの学びを活かすことができるかどうかを選考します。

ゼミ力重視方式は**専願方式**です。合格した場合、武蔵大学社会学部志望学科への入学を確約できることが出願の条件です。

国際教養学部

国際教養学科 経済経営学専攻

【国際バカロレアMYP型】

国際バカロレア資格を利用したDiploma Programme型に加え、Middle Years Programme履修者を対象とした入試方式を新設します。国際バカロレアプログラムで学んだ経験のある方を、より広く募集します。
(別要項を確認してください)

※国際教養学部 総合型選抜国際バカロレア DP 型入試、MYP 型入試について

別要項「国際教養学部 総合型選抜国際バカロレア利用入学試験募集要項」をご確認ください。

一 目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	P.5
募集人員	P.8
出願資格等	P.8
併願について	P.9
受験及び修学における特別な配慮について	P.9
出願から入学手続までのスケジュール	P.10
選考出願料について	
出願書類の郵送方法	
感染症に関する注意事項	
出願の流れ	
各学部の詳細	
経済学部（経済学科・経営学科・金融学科）	P.14
【課外活動重視型】	
【商業系資格重視型】	
人文学部（英語英米文化学科）	P.16
【語学力・文化理解力重視方式】	
人文学部（ヨーロッパ文化学科）	P.17
【A. 語学力重視方式】	
【B. 学科適性重視方式】	
人文学部（日本・東アジア文化学科）	P.20
【A. 語学力・文化理解力重視方式】	
【B. テーマ追究方式】	
社会学部（社会学科）	P.24
【A. ゼミ力重視方式】	
【B. 将来計画書方式（GDS）】	
社会学部（メディア社会学科）	P.28
【A. ゼミ力重視方式】	
【B. メディア・クリエーション方式】	
【C. 将来計画書方式（GDS）】	
国際教養学部（国際教養学科 経済経営学専攻）	P.34
【Admissions Office型（AO型）】	
国際教養学部（国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻）	P.35
【Admissions Office型（AO型）】	
入学手続について	P.36
1. 入学手続	
2. 2026年度 授業料等納付金	
3. 入学前教育について	
4. 入学辞退手続	
5. 入学許可の取消し	
個人情報の取扱いについて	P.38
選考出願料の支払方法	P.39

【本学所定用紙について】

出願する学部、学科/専攻、型/方式により出願に必要な書類が異なります。募集要項をよく読み、確認してください。
下記の本学所定用紙は、本学公式Webサイトからダウンロードし、A4サイズ片面で印刷してください。

《本学所定用紙はこちら》

本学公式Webサイト > 入試情報 > 総合型選抜入試・特別入試 > 総合型選抜入試

■全学部 共通

- ・志願票(A票)
- ・対照票(B票)、受験票(C票)
- ・出願書類提出用宛先シート

■経済学部

- ・志望理由書(課外活動重視型・商業系資格重視型 共通)
- ・紹介状(課外活動重視型)
- ・紹介状(商業系資格重視型)

■人文学部

- ・志望理由書(英語英米文化学科:語学力・文化理解力重視方式)
- ・志望理由書(ヨーロッパ文化学科:語学力重視方式)
- ・学科適性理由書(ヨーロッパ文化学科:学科適性重視方式)
- ・志望理由書(日本・東アジア文化学科:語学力・文化理解力重視方式)
- ・志望理由書(日本・東アジア文化学科:テーマ追究方式)

■社会学部

- ・自己紹介書(社会学科:ゼミ力重視方式、将来計画書方式(GDS))
- ・自己紹介書(メディア社会学科:ゼミ力重視方式、メディア・クリエーション方式、将来計画書方式(GDS))

■国際教養学部 国際教養学科

- ・志望理由書(経済経営学専攻:Admissions Office型(AO型))
- ・志望理由書(グローバルスタディーズ専攻:Admissions Office型(AO型))

※国際教養学部 総合型選抜国際バカロレアDP型入試、MYP型入試について

別要項「国際教養学部 総合型選抜国際バカロレア利用入学試験募集要項」をご確認ください。

※出願書類に記載された氏名の漢字を、JIS第一水準またはJIS第二水準の文字に置き換えることがあります。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

■ 大学

武蔵大学は、学園建学の「三理想」に基づき、大学の「教育の基本目標」を定め、これらをもとに各学部の人材養成の目的と教育研究上の目的を定めています。こうした本学の教育理念や教育目標を十分に理解し、グローバルリーダーとして成長しようとする意欲がある次のような人を受け入れます。

1. 本学での学修に必要な学力を有している人(知識・技能・思考力・判断力・表現力・発信力)
2. 幅広い知識、専門的な知識、深い教養、課題解決力を身につけようとする意欲がある人(知識・教養・技能)
3. 基礎的な論理的思考力・判断力、さらに課題発見・解決に必要な十分な知識を身につけようとする意欲がある人(思考力・判断力)
4. グローバルな思考力および異文化を理解するために必要な外国語能力を身につける意欲がある人(外国語運用能力・発信力・異文化理解)
5. 多様な人々の人権を尊重し、他者と協働して社会に貢献しようとする意欲がある人(対話力・協働性)
6. ゼミナール等で主体的に課題を発見し、探究した内容を広く社会に発信・表現する意欲がある人(主体性・発信力・表現力)

多様な形態による入学試験によって、本学での学修に必要な基本的な学力や学ぶ意欲などを多面的に評価します。具体的な内容については、各学部・学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

○総合型選抜入試の入学者受入れ方針

総合型選抜入試では、以下のような点を評価します。

- ① 書類審査によって本学での学修に必要な学力、すなわち、知識・技能・思考力・判断力や基礎的な外国語運用能力等を評価します。その他、方式ごとに定めた出願書類等から、特定の教科や学問分野または社会問題に関心をもち主体的に探究した成果や志望学科等で学ぶ意欲等を評価します。
- ② 小論文等により知識・技能・教養に加え、論理的思考力・表現力・発信力や課題発見力等を評価します。
- ③ 面接・プレゼンテーション等により主体性・対話力・協働性や志望学科等において自身の学びを深める意欲等を評価します。

■ 経済学部

経済学部は、学園建学の「三理想」、全学の「教育の基本目標」並びに全学の3ポリシーに基づき、独自の教育上の目的や人材養成の目的を定めています。即ち、自然科学、人文科学、社会科学の幅広い知識、深い教養を身につけ、専門的な知識を有機的に結びつける能力があり、社会に貢献しようとする意欲を強くもって行動できる人物を育成することが人材養成の目的です。そのうえで経済学部は、次のような入学者受け入れの方針を具体的に定めています。

○求める人物像

【学部共通】

1. 経済学部全体および入学希望学科のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、そしてカリキュラム・ポリシーをよく理解し、本学部が設定した教育内容を学ぼうとする明確な意志をもっている人
2. わが国および世界の経済や金融、および企業等の経営に興味をもち、主体的に研究課題を見つけ出し、解決に必要な情報等を自ら調べ、調べたことを基に自ら考え抜き、他者と協力しながら、明確な結論を導くことができる人
3. 少人数制のゼミナールで、知識・技能、思考力・判断力、主体性・発信力・表現力を身につけたい人

【経済学科】

1. 勉学意欲と基礎的な学力を備え、国内外の現代的問題とくに経済の動向や財政問題に強い関心のある人
2. 日本と世界の経済の歩みを歴史的にとらえることに関心のある人

【経営学科】

1. 勉学に取り組む真剣な態度と基礎的な学力を備え、国内外の現代的諸問題とくに企業の動向や経営のあり方に強い関心のある人
2. 経営学と結びついた情報コミュニケーション技術や情報教育に強い関心のある人
3. 会計の基本的な仕組みから、隣接する分野(経済学、法律、ファイナンスなど)への応用まで、積み上げ方式でじっくり学びたい人

【金融学科】

1. 真剣に学業に取り組む姿勢と基礎的な学力を備え、現代の諸問題とくに金融・ファイナンスの分野に強い関心のある人
2. ファイナンス関係の知識と技能を身につけ、各種の資格を取得して卒業後の職業生活に活かしたいと願う人

○総合型選抜入試の受入方針

入学前までに課外活動や本学が指定する資格等を有し、すでに高い学習成果を収め、豊かな個性、正課および課外活動への積極的な取り組みと成果、そして本学部への入学に強い意欲・関心を有し、入学後のゼミナール活動において積極的に活躍できる人を受け入れます。

出願書類や小論文を含む筆記試験では、知識・技能(特に国語や数学の能力)、判断力、思考力、表現力、主体的に探究した成果を、面接では主体性、協働性を総合的に評価します。

■ 人文学部

人文学部は、学園建学の「三理想」、全学の「教育の基本目標」並びに全学の3ポリシーに基づき、大学設置基準が求める教育研究上の目的と人材養成の目的を以下のように定めています。即ち、幅広い識見、深い教養、言語能力及び国際感覚を培い、人文学の各分野における専門的知識と応用力を修得させることが教育研究上の目的であり、これを踏まえて現代的な課題の解決に向けて真摯に取り組む人物を育成することに人材養成の目的があります。そのうえで人文学部は、次のような入学者受け入れの方針を具体的に定めています。

○求める人物像

【学部共通】

1. 高等学校等での学習に真剣に取り組む、基礎的な知識・技能、思考力、判断力、表現力を身につけ、主体性と協調性を備えていて、各学科のアドミッション・ポリシーをよく理解したうえで入学を強く希望する人
2. グローバル市民の自覚をもって自文化と異文化を深く理解する意欲のある人。特定の地域およびその地域の言語を集中的に学んで身につける一方、世界の諸地域の文化的多様性に目を向け、多言語・多文化学習を志す人

3. 主体的に研究課題を選び出し、自ら調べて考え抜き、他者と協力し、研究の分担を決めて自分の役割を果たす姿勢のある人。具体的には、少人数制のゼミナール、実習、卒業論文に能動的に取り組む、単独で深く学ぶ姿勢、協調と協働の精神、そしてリーダーシップを総合的に身につけたい人
4. 対話や討論を行いながら研究を推進し、現地調査も積極的に行うなかで明確な結論を導き出し、それらを文書および口頭で、現代的なツールを用いて効果的に表現し、発信する力を身につけたい人
5. グローバル・チャレンジ(GC)の各外国語プログラムに関しては、各外国語をさらに掘り下げて理解し、語学研修や留学を通じて当該地域の文化に関する知見を深め、その外国語を使って卒業論文を執筆する意欲のある人
6. グローバル・ヒューマニティーズ(GH)については、各学科での専門的な学びを土台としつつ、地域別の視野を超えた人文学全体の立場から物事を批判的に捉え直し、他学科の学生との意見交換を通じてさらに見識を深め、その成果を洗練された日本語や外国語の卒業論文としてまとめようという意欲のある人
7. 日本語教員プログラムについては、諸外国の人々に日本語を教えるなかで国際協力・国際親善の推進に寄与する意欲のある人

【英語英米文化学科】

1. 「英語・英語教育」「文学・芸術・メディア」「歴史・社会・思想」「交流文化・観光」の4領域を中心として、イギリス・アメリカをはじめとする英語圏の文化に強い関心をもつ人
2. 英語を集中的に学んでコミュニケーション能力を高め、海外留学に挑戦し、グローバル化する21世紀の世界において活躍できる実践力を身につけ、将来、英語を使う仕事に就きたいと願う人

【ヨーロッパ文化学科】

1. 「言語と文学」「芸術と生活」「歴史と思想」「環境と社会」の4領域を中心として、ヨーロッパ世界の文化に強い関心をもつ人
2. 英語だけでなくドイツ語やフランス語を集中的に学び、国際的なコミュニケーション能力を身につけ、海外留学に挑戦し、グローバル化する21世紀の世界において活躍できる実践力を磨き、将来、社会人として日本とヨーロッパの交流の担い手になる意志のある人。GCドイツ語プログラム、フランス語プログラム、英語プログラムに関しては、高度かつ集中的な語学教育を受け、留学をはじめとする国際交流に能動的に取り組む、当該言語での口頭発表や論文執筆などにも挑戦したい人

【日本・東アジア文化学科】

1. 「ことば・文学・思想」「芸術・身体・環境」「歴史・民俗・宗教」の3領域を中心として、日本および東アジアの歴史と文化に強い関心をもつ人
2. 英語だけでなく中国語や韓国・朝鮮語を集中的に学び、国際的なコミュニケーション能力を身につけ、海外留学に挑戦し、グローバル化する21世紀の世界において活躍できる実践力を磨き、将来、社会人として国際的に活躍したいと願う人。GC中国語プログラム、韓国・朝鮮語プログラム、英語プログラムに関しては、高度かつ集中的な語学教育を受け、留学をはじめとする国際交流に能動的に取り組む、当該言語での口頭発表や論文執筆などにも挑戦したい人

○総合型選抜入試の受入方針

高等学校等での高い学習成果、本学部での学びに強い関心を持っている人を受け入れます。

出願書類、筆記試験(小論文等)ではおもに知識・技能、思考力、判断力、表現力を、面接ではそれらの力だけでなく主体性、協調性も評価します。外国語の検定試験の一定スコアを受験の条件としています。

■ 社会学部

学園建学の「三理想」と「教育の基本目標」、さらに、本学の3ポリシーを理解し、これを学ぼうとする明確な意志があり、高等学校等までの学習の成果として、社会で起こっているさまざまな現象や事象、人間の行動や意識等に対して興味・関心をもち、社会学部で学ぶに十分な学力と学修態度・学修習慣を身につけていることを入学者受け入れの基本的な条件とします。

○求める人物像

【学部共通】

1. 社会のあり方や人間の行動等を学ぶ上で必要となる基礎学力を修得した人(知識・教養・技能)
2. 社会で起こっているさまざまな現象や事象に対して興味・関心をもち、主体的に行動することができる人(主体性・協働性)また、異なる価値観や文化、性別など多様な人々と良好な関係を築き、協働することができる人(主体性・協働性)
3. 社会で起こっているさまざまな現象や事象の中から課題を見出し、その原因や解決方法について、自ら情報を収集し、的確な対応、判断ができる人(思考力・判断力・表現力)
4. 他者の考えや主張を理解するとともに、自分の意見を述べたり表現したりすることができる人(思考力・判断力・表現力・発信力)

【社会学科】

社会学科では、社会のあり方や人間の行動を学ぶにたる基礎学力をもつ学生を受け入れます(知識・教養・技能)。事象や問題・課題を、人間と社会との関係性という視点から考察するとともに、社会的問題を発見しその理解や解決の道すじについて自ら情報やデータを収集・分析することができる人の入学を期待しています(思考力・判断力・表現力)。また、さまざまな視点から新しい社会のあり方を構想しようとする意欲をもち、異なる価値観を持つ多様な人々と協働できる人を求めています(主体性・協働性)。

【メディア社会学科】

メディア社会学科では、社会のあり方や人間の行動を学ぶにたる基礎学力をもつ人を受け入れます(知識・教養・技能)。社会で起こっているさまざまな事象に関心をもち、情報を収集して、自らの見解をまとめて表現することができる人の入学を期待しています(思考力・判断力・表現力・発信力)。また、メディア情報を分析して読み解くと同時に、その成果を、異なる価値観を持つ多様な人々と協働しながら、情報コンテンツとして地域社会やグローバルな世界に向かって発信しようとする意欲のある人を求めています(主体性・協働性)。

【グローバル・データサイエンス(GDS)コース】

学部共通のグローバル・データサイエンス(GDS)コースでは、国際化に対応できる語学力を修得するための基礎となる英語力、これからの社会で必要とされる社会調査の方法論や情報活用スキル、データサイエンスの修得の基礎となる数学の基礎的知識をもった人を受け入れます(知識・教養・技能)。グローバルな視点で、社会問題の存在に気づき、それについての情報を収集し、自分の見解をまとめてその表明ができる人の入学を期待しています(思考力・判断力・表現力・発信力)。また、国内外の社会的問題をデータにもとづいて科学的に分析し、その成果を日本語のみならず英語等の外国語で発信したいという意欲をもって、異なる観点をもつ人と協働できる人を求めています(主体性・協働性)。

○総合型選抜入試の受入方針

高等学校における学業成績、課外活動や社会的活動への積極的な取り組みと実績、本学部への入学に対して強い意欲・関心を有している人を受け入れます。

出願書類、小論文では、知識・技能、思考力、判断力、表現力、主体的に探究した成果を、プレゼンテーション、面接では、主体性、協働性を含めた学力の3要素すべてについて総合的に判断します。

GDSコース希望者については、語学力、あるいは、情報処理能力や数学能力を評価します。

■ 国際教養学部

国際教養学部は、学園建学の「三理想」、全学の「教育の基本目標」並びに全学の3ポリシーに基づき、独自の教育研究上の目的や人材養成の目的を定めています。即ち、リベラルアーツ&サイエンスの精神に則った幅広い教養と深い専門知識に基づくグローバル化した社会への理解、高度な英語コミュニケーション力を涵養することが人材養成の目的です。そのうえで国際教養学部は、次のような入学者受け入れ方針を具体的に定めています。

○求める人物像

1. 高等学校等での学習に真剣に取り組む、基礎的な知識・技能・思考力・判断力・表現力・発信力を身につけ、主体性と協働性を備えていて、各専攻のアドミッション・ポリシーをよく理解したうえで入学を強く希望する人
2. 概ね、CEFRのB1レベル以上に相当する高度な英語運用能力を有する人
3. グローバル化した社会の諸問題を深く理解し、グローバルリーダーを目指す志のある人。異文化理解と多様性に目を向け、他者尊重の態度を身につけることに意欲がある人
4. 自主的に知的関心を深め、本学の建学の三理想である「自調自考」を実践するとともに、ゼミナール等の協働が求められる学びの場においては、協調の精神をもって積極的に参加する意欲がある人
5. グローバル化した社会において活躍できる実践力を身につけ、大学院への進学、国際機関やグローバル企業への就職を志し、グローバルな問題への対応や交渉に携わりたいと願う人

【国際教養学科】

[経済経営学専攻]

1. 幅広い教養や高度な英語コミュニケーション力に加えて、経済・経営学分野の深い専門知識や統計的手法も兼ね備えたグローバルリーダーとして国内外で活躍することを願う人
2. ロンドン大学とのパラレル・ディグリー・プログラム(PDP)の履修や協定留学等を通じて高度な問題を英語で議論する能力を身につけたいと願う人

[グローバルスタディーズ専攻]

1. Global Relations, Global Communication Studies, Global Cultural Studiesの3分野を中心として、国際関係、グローバル化した社会におけるコミュニケーション、現代社会、世界の多様な文化と社会に目を向ける分野横断的文化研究に強い関心をもつ人
2. 本専攻の英語学習カリキュラムによって、研究のために必要なアカデミック・イングリッシュを身につけ、海外留学に挑戦したいと願う人

○総合型選抜入試の受入方針

- ① 書類審査、小論文、学力試験等によって本学での学修に必要な学力、即ち、知識・技能・思考力・判断力や英語運用能力等を評価します。
- ② 出願書類、面接等により主体性・協働性・対話力や学修意欲、主体的に探究した成果等を評価します。

<参考>

・建学の理念と教育の基本目標

<https://www.musashi.ac.jp/about/philosophy.html>

・グローバル教育方針

<https://www.musashi.ac.jp/about/policy/global.html>

・武蔵大学の教育研究上の目的

<https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/purpose.html>

・武蔵大学のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/evaluation/diploma_policy.html

・武蔵大学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/class/curriculum_policy.html

・武蔵大学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/student/admission_policy.html

募集人員

学 部	学科・専攻	募集人員
経済学部※1	経済学科	15
	経営学科	15
	金融学科	15
人文学部	英語英米文化学科	10
	ヨーロッパ文化学科	8
	日本・東アジア文化学科	8
社会学部	社会学科	3
	メディア社会学科	3
国際教養学部	国際教養学科 経済経営学専攻	5※2
	国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	8

※1 経済学部は、学科選択において志望順位制度(第三志望まで記入可能)を採用しています。志願票に記入された学科の志望順位と二次選考の成績によって、合格する学科を決定します。そのため、第二志望又は第三志望の学科に配属されることがあります。

※2 国際教養学部国際教養学科経済経営学専攻 国際バカロレアMYP型入試の募集人員を含みます。

出願資格等

経済学部

本学の教育内容を十分理解した上で、出願志望の学科で学ぶことを強く希望し、出願する型ごとに下記の定められた条件をすべて満たす者。

【課外活動重視型】

- (1) 高等学校又は中等教育学校を2026年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 高等学校又は中等教育学校在学中に行った課外活動に熱心に取り組み、「顕著な成績」★を修めた者。

【商業系資格重視型】

- (1) 高等学校又は中等教育学校を2026年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 上記(1)の出願資格に加え、定められた資格★を有していること。

人文学部

本学の教育内容を十分理解した上で、出願志望の学科で学ぶことを強く希望する者。かつ以下の(1)～(3)のいずれかの条件に該当することに加え、各学科の方式別に定められた条件等★を満たす者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、及び2026年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 通常の学校教育における12年の課程を修了した者、及び2026年3月までに修了見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められる者、及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

社会学部

本学の教育内容を十分理解した上で、出願志望の学科で学ぶことを強く希望する者。かつ以下の(1)～(3)のいずれかの条件に該当することに加え、各学科の方式別に定められた条件等★を満たす者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、及び2026年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 通常の学校教育における12年の課程を修了した者、及び2026年3月までに修了見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められる者、及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

国際教養学部

本学の教育内容を十分理解した上で、出願志望の専攻で学ぶことを強く希望する者。かつ以下の(1)～(3)のいずれかの条件に該当することに加え、専攻ごとに定められた条件等★を満たす者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、及び2026年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 通常の学校教育における12年の課程を修了した者、及び2026年3月までに修了見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められる者、及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

★資格、条件、選考方法等については下記のページも参照してください。

経済学科・経営学科・金融学科	課外活動重視型	14ページ
	商業系資格重視型	14ページ
英語英米文化学科	語学力・文化理解力重視方式	16ページ
ヨーロッパ文化学科	語学力重視方式	17ページ
	学科適性重視方式	19ページ
日本・東アジア文化学科	語学力・文化理解力重視方式	20ページ
	テーマ追究方式	22ページ
社会学科	ゼミ力重視方式	24ページ
	将来計画書方式(GDS)※	26ページ
メディア社会学科	ゼミ力重視方式	28ページ
	メディア・クリエーション方式	30ページ
	将来計画書方式(GDS)※	32ページ
国際教養学科 経済経営学専攻	Admissions Office型(AO型)	34ページ
国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	Admissions Office型(AO型)	35ページ

※GDSとはグローバル・データサイエンスコースの略称です。グローバルかつ学際的な志向をもち、社会的視野とデータサイエンス・スキルを修得した学生を育成するために、所属学科にかかわらず、幅広くかつ奥深い学修を目指す、社会学科、メディア社会学科に共通のコースです。

併願について

- ◆ 社会学部ゼミ力重視方式を除き、他大学との併願が可能です。(社会学部ゼミ力重視方式のみ専願方式となります)
- ◆ 9月28日(日)に実施する総合型選抜国際バカロレアDP型入試、10月11日(土)および12日(日)に実施する入試(総合型選抜入試(国際バカロレアMYP型を含む)、帰国生徒対象入試、社会人入試、外国人学生特別入試、編入学・転入学・学士入学試験)の中での併願はできません。出願する学部、学科/専攻、型/方式を出願時に指定してください。
- ◆ 総合型選抜入試で不合格の場合でも、学校推薦型選抜指定校制推薦入学や一般選抜(大学入学共通テスト方式、一般方式)に出願が可能です。

受験及び修学における特別な配慮について

病気・負傷や障害等のため、受験及び修学上で特別な配慮を必要とする方は、出願受付開始日の1か月前までに武蔵大学ダイバーシティセンターへご連絡ください。

お問い合わせフォーム：<https://www.musashi.ac.jp/campuslife/org/diversitycenter/contact.html>

出願から入学手続までのスケジュール

日 程 等				備 考
一次選考	出 願	Web出願情報登録	8/1(金)より登録可能	本学Webサイトから出願情報を登録してください。
		一次選考出願料納付	9/1(月)～9/10(水)	【選考出願料】15,000円 ※納付方法:39ページ参照
		出願書類郵送	9/1(月)～9/10(水)消印有効	本学Webサイトから必要な書類をダウンロード、印刷し作成してください。 ※郵送方法:11ページ参照
	結果通知		9/26(金)発送予定 (郵送)	選考結果は、通過・不通過にかかわらず速達で本人宛に発送します。発送日より2～3日過ぎても届かない場合は、アドミッションセンターへ問い合わせてください。 なお、電話やメールによる結果の問い合わせには応じられません。 ※一次選考通過者には結果と併せて「受験票、二次選考のご案内、二次選考実施要領」を送付します。

一次選考通過者は、二次選考の手続きに進んでください。

日 程 等				備 考
二次選考	出願	二次選考出願料納付	9/26(金)～10/3(金)	【選考出願料】20,000円 ※納付方法：一次選考通過者に通知します ※二次選考出願料の納付完了後、コンビニエンスストアから受領する書面の「収納証明書」部分だけを切り取り、受験票の所定欄に貼ってください。
	試験・面接		10/11(土)	国際教養学部グローバルスタディーズ専攻
			10/12(日)	経済学部、人文学部、社会学部、国際教養学部経済経営学専攻
			【経済学部・課外活動重視型】のみ 10/11(土)又は10/12(日)	【経済学部・課外活動重視型】 試験日がどちらの日程になるかは、一次選考通過者に発送する「二次選考実施要領」でお知らせします。
	可否通知		10/29(水)発送(郵送) ※11/1(土)到着見込	選考結果は、合格・不合格にかかわらず速達で本人宛に発送します。 発送日より2～3日過ぎても届かない場合は、アドミッションセンターへ問い合わせてください。 なお、電話やメールによる可否の問い合わせには応じられません。

合格者は、入学手続に進んでください。

日 程 等		備 考
第一次入学手続期間	11/1(土)～11/11(火)	1. 新規アカウントの登録(Web入学手続) 2. マイページから入学手続学科・専攻の選択 3. 入学金の納付
入学前教育、 合格後のガイダンス	※詳細は別途連絡予定	・入学前教育は学部ごとに実施します。 ・国際教養学部(経済経営学専攻)合格者対象にガイダンスを実施します。
第二次入学手続期間	2026/2/28(土)～3/11(水) 消印有効	1. 授業料等納付金の納付 2. マイページから必要な情報の登録 3. 入学手続書類郵送

※出願時に提出された書類等は返却いたしません。

※毎年、入学手続を忘れた・間に合わないという問い合わせが発生しています。入学手続締切日までに手続が完了しない場合、入学は認められませんので注意してください。

■ 選考出願料について

【総合型選抜入学試験】	一次選考出願料	15,000円
	二次選考出願料	20,000円

コンビニエンスストアで納付してください(納付方法:39ページ参照)。

※選考出願料を納付しただけで、出願完了とはなりません。出願を完了するためには、Web出願情報の登録、選考出願料の納付、出願書類の郵送など、必要な手続きを指定の期間に不備なく行うことが必要です。

※一旦納付された選考出願料は、原則として返還いたしません。ただし、次の①～④の場合で、返還請求締切日(11月6日(木))までに武蔵大学アドミッションセンター(Tel.03-5984-3715)に請求連絡があった場合のみ選考出願料を返還します。なお、選考出願料返還に伴い発生する振込手数料は志願者の負担となります。

- ① 選考出願料を納付したが、出願書類を提出しなかった場合
- ② 選考出願料を納付し、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった場合
- ③ 選考出願料を納付したが、出願締切後に書類を提出した場合
- ④ 納付すべき選考出願料より過剰に納付した場合

■ 出願書類の郵送方法

- ① 本学公式Webサイトから「出願書類提出用宛先シート」をダウンロードしてください。
- ② 市販の角形2号封筒に必要な書類を入れ、「出願書類提出用宛先シート」を封筒に貼付けし**郵便局の窓口**から「簡易書留・速達」で郵送してください。

■ 感染症に関する注意事項

試験当日、感染症を疑う症状(37.5度以上の高熱、嘔吐、下痢などの症状)がある場合、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、学校保健安全法の出席停止期間内にあっても担当医が伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び選考出願料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

■ 出願の流れ

事前準備 本学公式Webサイトから必要書類ダウンロードと作成等

- ・ 出願情報の登録に必要なメールアドレスを準備してください。メールの受信設定でドメイン指定している場合は、「@muac.jp」からのメールが受信できるようあらかじめ設定してください。
- ・ 出願書類の作成に加えて、顔写真、調査書、資格検定試験の証明書、角2封筒（出願書類送付用）などを準備してください。
- ・ 出願する学部学科専攻の入試方式・型によって出願書類が異なります。総合型選抜入試募集要項（本冊子）で、ご自身の出願に必要な書類を確認のうえ、以下の本学公式Webサイトから書類をダウンロードし、A4サイズ片面で印刷してから作成してください。

《出願書類ダウンロードページはこちら》

本学公式Webサイト>入試情報>総合型選抜入試・特別入試>総合型選抜入試



Step.1 Web出願情報の登録 ※8月1日より登録可能

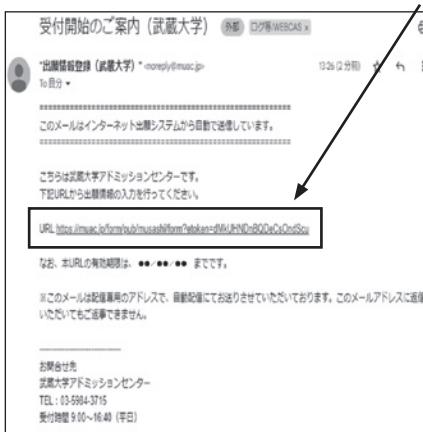
- ①8月1日以降、以下の本学公式Webサイト、又は二次元コードを端末で読み取るとメールソフトが起動します。
表示されたメールアドレスに「空メール」を送信してください。出願情報を登録するためのURLをメールで自動返信します。

《Webサイトから出願情報を登録する方はこちら》

本学公式Webサイト>入試情報>総合型選抜入試・特別入試>総合型選抜入試（【出願情報登録（空メール送信）】をクリック）

- ②自動返信されたメールに記載のURLをクリックしてください。

《二次元コード》



- ③Web出願情報を入力するための【選択画面】が表示されますので、出願する内容、住所や連絡先など間違えないように選択・入力してください。

「確認」ボタンを押下すると【登録画面】が表示されます。内容に間違いがないことを確認し「登録」ボタンを押下してください。

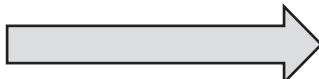
選択画面

確認ボタン

登録画面

登録ボタン

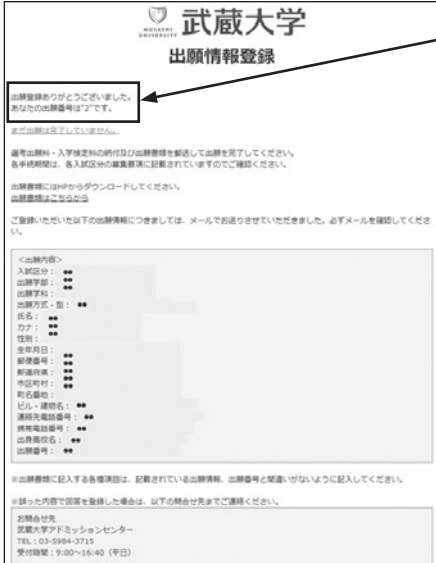
確認ボタンを押下すると、
登録画面に進みます



- ④「登録内容の確認画面」が表示されたら、「出願番号」と登録内容（出願内容）について確認してください。
この内容を「出願情報確認メール」として自動返信します。このメールには、出願書類に記入する内容のほか「出願番号」も記載されていますので、削除せず大切に保管してください。

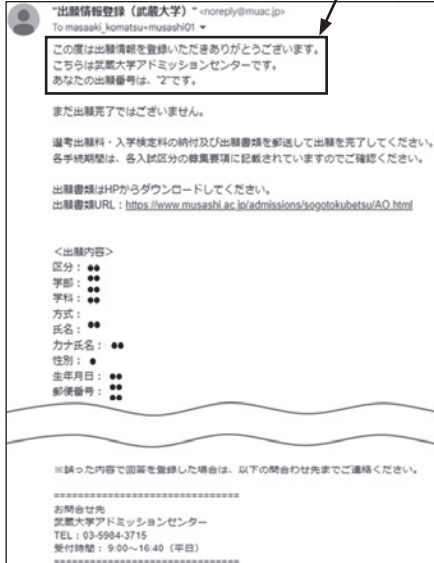
登録内容の確認画面

出願情報確認メール



登録内容について、
登録したメールアドレスに
自動返信します。





- 注意**
- (1) Web出願情報を登録するだけで、出願完了とはなりません。Step2～3の手順で一次選考出願を完了してください。
 - (2) 登録内容に誤りがあった場合は、再度「空メール送信」から出願情報を登録してください。
 - (3) 登録した内容、出願番号を間違えないように出願書類にも記入してください。

※「Web出願情報の登録」において、正常に登録ができなかった方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
【お問い合わせ先】武蔵大学アドミッションセンター TEL:03-5984-3715 平日9:00～16:40

Step.2 一次選考出願料（15,000円）の納付 ※納付期間：9月1日（月）～9月10日（水）

- ・39ページの「選考出願料の支払方法」を確認のうえ、「コンビニエンスストア」で一次選考出願料を納付してください。
(払込手数料が別途かかります)
- ・一次選考出願料の納付完了後、コンビニエンスストアから受領する書面の「収納証明書」部分だけを切り取り、出願書類（志願票：A票）の所定欄に貼ってください。

Step.3 必要書類の郵送（簡易書留・速達） ※出願期間：9月1日（月）～9月10日（水） 消印有効

- ・郵便局の窓口から、出願期間内に簡易書留・速達で出願に必要な書類を郵送してください。郵便ポストに投函した場合、簡易書留扱いになりませんのでご注意ください。郵送時に郵便局の窓口で渡される「書留郵便物受領証」等は大切に保管してください。

Step.4 一次選考の出願完了

- ・Step1～3まで全ての手順を行い、出願内容、提出書類に不備がなければ一次選考の出願は完了です。
- ・不備がある場合は、出願時に登録した電話番号やメールアドレスに連絡します。

9月26日（金）一次選考結果通知 発送予定

◆一次選考通過者は、Step5～Step6に進んでください。

Step.5 二次選考出願料（20,000円）の納付 ※納付期間：9月26日（金）～10月3日（金）

- ・一次選考通過者には、「受験票、二次選考のご案内、二次選考実施要領」を送付します。この文書に記載される二次選考出願料の納付方法に従い、二次選考出願料を納付してください。(払込手数料が別途かかります)
- ・二次選考出願料の納付完了後、コンビニエンスストアから受領する書面の「収納証明書」部分だけを切り取り、受験票の所定欄に貼ってください。
- ・二次選考出願料の未納者に対して、本学から納付に関する連絡はしません。二次選考出願料を納付しなかった場合は、二次選考を辞退したものと扱います。二次選考を受験する方は必ず指定期間内に納付手続きをしてください。

Step.6 二次選考の出願完了 ※二次選考出願料納付完了者

- ・二次選考当日は、「二次選考実施要領」に従って「受験票」を持参してください。

【お問い合わせ先】武蔵大学アドミッションセンター

TEL:03-5984-3715

平日9:00～16:40

各学部の詳細

経済学部(経済学科・経営学科・金融学科)

経済学部の総合型選抜入試には「課外活動重視型」と「商業系資格重視型」があります。

1. 出願資格等

8・9ページに記載の「出願資格等」に加え、出願する型ごとに定められた条件をすべて満たす者。

【課外活動重視型】

高等学校又は中等教育学校在学中に行った課外活動に熱心に取り組み、「顕著な成績」を修めた者。

※「顕著な成績」を修めた者の例：

- ・高等学校等における学校公認の部活動に所属し、都道府県レベル以上の大会やコンクール等で顕著な成績をあげたチーム・グループの正規メンバー(登録メンバー、顧問や監督等が正規メンバーに準ずると認めた者を含む)、あるいは個人参加者。
- ・高等学校等における生徒会並びに文化祭活動において、重要な役職を務め顕著な成果をあげた者。
- ・部活動以外(学外を含む)の運動競技・芸術活動等の文化活動に参加し、都道府県レベル以上の大会やコンクール等で顕著な成績をあげたチーム・グループの正規メンバー(登録メンバー、顧問や監督等が正規メンバーに準ずると認めた者を含む)、あるいは個人参加者。
- ・ボランティア組織などに所属し、積極的な貢献を行い顕著な成果をあげた者。

【商業系資格重視型】

以下のいずれかの資格を有していること。

1. 日商簿記検定試験2級以上
2. 全国商業高等学校協会検定試験のうち、次の種目①～⑨のなかで「簿記実務検定試験1級」を含めて3種目以上
 - ① ビジネス計算実務検定試験1級(珠算) ※普通・ビジネス計算部門の両部門必須
 - ② ビジネス計算実務検定試験1級(電卓) ※普通・ビジネス計算部門の両部門必須
 - ③ 簿記実務検定試験1級 ※会計・原価計算部門の両部門必須
 - ④ ビジネス文書実務検定試験1級 ※ビジネス文書・速度部門の両部門必須
 - ⑤ 英語検定試験1級
 - ⑥ 情報処理検定試験1級(プログラミング)
 - ⑦ 情報処理検定試験1級(ビジネス情報)
 - ⑧ 商業経済検定試験1級
 - ⑨ 財務諸表分析検定試験・財務会計検定試験・管理会計検定試験のいずれかに合格※⑨のうち1種目のみ出願資格としている3種目に含めることができる
3. 全国経理教育協会簿記能力検定試験1級以上
4. 情報セキュリティマネジメント
5. 基本情報技術者
6. 応用情報技術者

2. 選考方法

(1) 一次選考(書類審査)

提出された書類及び型別の以下の状況を総合的に評価して選考します。

【課外活動重視型】：課外活動の成果と志望理由

【商業系資格重視型】：資格の取得状況と志望理由

(2) 二次選考(筆記試験及び面接)

① 試験日

【課外活動重視型】	10月11日(土)又は10月12日(日) ※どちらの日程になるかは、一次選考通過者に発送する「二次選考実施要領」でお知らせします。
【商業系資格重視型】	10月12日(日)

② 筆記試験及び面接を実施し、一次選考の結果を含めて総合的に評価して選考します。

➤ 選考基準:一次選考結果35%、筆記試験40%、面接25%

筆記試験	【課外活動重視型】 【商業系資格重視型】	筆記試験(総合問題:基礎学力(国語・数学)を評価する内容を含む):80分
面接	個別面接。終了時間は受験者によって異なる。	

二次選考詳細 ※辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません

3. 出願書類

下記の出願書類①～⑥を、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。

① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※

※出願後の志望学科及び志望順位の変更は認めません。

② 調査書(又はそれに代わる書類)

③ 志望理由書※…必ず志願者本人が記入してください。

④ 紹介状※…出願する型ごとに書式が異なるため注意してください。指導責任者(高等学校等教員・部長・監督・顧問等)、所属団体の代表者又は志願者本人の活動を証明できる人物が記入の上厳封してください。

⑤ 資格書類、又は活動成果を証明する資料の写し

※次の注意事項に従い、各型の「出願資格」における条件に該当する旨を証明する資料の写しを添付してください。

<注意事項>

・原則、A4サイズ・片面で、ホッチキス留めやファイルに綴じないこと。

・映像資料の場合、出演箇所のチャプター番号や該当箇所が分かる時間などを記載すること。

【課外活動重視型】	課外活動における成果が確認できる資料の写し (例:選手名簿及びトーナメント表、ボランティア活動や生徒会活動等の成果がメディアなどで紹介された記事等) ※資料には、氏名・出所・資料の発行日付を記入してください。
【商業系資格重視型】	取得資格を証明する証明書の写し

⑥ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。

※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)

人文学部(英語英米文化学科)

英語英米文化学科の総合型選抜入試には「語学力・文化理解力重視方式」があります。

【語学力・文化理解力重視方式】

入学後の学びに必要な基礎的な英語力があるか、学科の教育内容に関係の深い英語圏の「英語・英語教育」「文学・芸術・メディア」「歴史・社会・思想」「交流文化・観光」などの専門分野を学ぶ意欲や適性があるか、思考力や文章表現力があるか、対話力、主体性、協調性が備わっているかを総合的に評価します。

1. 出願資格

8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)に加え、英語能力が以下のいずれかの基準を満たしていること(ただし、2023年10月以降に受検したものに限る)。英語能力を確認できる書類については、下記「3.出願書類④」を参照してください。

1. ケンブリッジ英語検定 142以上(Linguaskillの場合、公開受検のスコアを有効とします。自宅受検のスコアは利用できません。)	2. 実用英語技能検定CSE 1990以上(受検した級に合格していない場合でも出願可能です。ただし、準2級以上に限ります。英検S-CBT、英検S-Interviewも利用可能です。)
3. GTEC 959点以上(オフィシャルスコアに限り。検定版、CBTタイプが利用可能です。)	4. IELTSオーバーオール・バンド・スコア4.0以上(アカデミック・モジュールに限り。IELTSコンピュータ版も利用可能です。)
5. TEAP 235点以上	6. TEAP CBT 440点以上
7. TOEFL iBT® 45点以上(団体受験のスコア及びTOEFL iBT® Home Editionは利用できません。Test Dateスコアのみ利用可能です。My Best™スコアは利用できません。)	8. TOEIC® L&R/S&W 1200点以上(IPテストのスコアは利用できません。TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にし、TOEIC® L&Rと合算したスコアとします。)

※いずれの試験においても4技能合計のスコアです。
※いずれの試験においても異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。ただし、実用英語技能検定の一次試験免除者については、二次試験受験時に申請した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組み合わせを認めます。この場合、二次試験を2023年10月以降に受験し、取得したスコアを有効とします。

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査	調査書、志望理由書、英語能力
二次選考	筆記試験、面接(主として日本語)	筆記試験 50%、 出願書類(英語資格・検定試験の証明書を含む)及び 面接 50%

二次選考詳細 ※辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません
試験日:10月12日(日)

- (1)筆記試験:90分。英語の語学力判定問題を含む日本語小論文。
- (2)面接:主として日本語で行います。ただし英語の質疑応答もあります。グループ方式。面接時間はグループの人数によります。面接は、小論文の内容及び出願書類に関する質疑応答を含みます。

3. 出願書類

下記の出願書類①～⑤を、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。

- ① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※
 - ② 調査書(又はそれに代わる書類)
 - ③ 志望理由書※(Word等のワープロソフトを使用して入力してください)
 - ④ 英語資格・検定試験の合格証明書又はスコアを証明する書類の写し
 - ⑤ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。
- ※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)

人文学部(ヨーロッパ文化学科)

ヨーロッパ文化学科の総合型選抜入試には「語学力重視方式」と「学科適性重視方式」があります。

【A. 語学力重視方式】

入学後にドイツ語又はフランス語を中心とした外国語の習得に力を注ぎ、留学や国際交流に積極的に取り組む意思があるか、学科の教育内容に関係の深いヨーロッパの言語・文学・芸術・生活・歴史・思想・環境・社会などの専門分野を学ぶ意欲があるか、思考力や文章表現力があるか、対話力、主体性、協調性が備わっているかを総合的に評価します。

1. 出願資格

8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)に加え、以下の条件を満たすこと。

英語、ドイツ語、フランス語能力のいずれかが以下のいずれかの基準を満たしていること(ただし、2023年10月以降に受験したものに限る)。外国語能力を確認できる書類については、次ページ「3.出願書類④」を参照してください。

【英語】

1. ケンブリッジ英語検定 140以上(Linguaskillの場合、公開受検のスコアを有効とします。自宅受検のスコアは利用できません。)	2. 実用英語技能検定CSE 1950以上(受検した級に合格していない場合でも出願可能です。ただし、準2級以上に限ります。英検S-CBT、英検S-Interviewも利用可能です。)
3. GTEC 930点以上(オフィシャルスコアに限り。検定版、CBTタイプが利用可能です。)	4. IELTSオーバーオール・バンド・スコア4.0以上(アカデミック・モジュールに限り。IELTSコンピュータ版も利用可能です。)
5. TEAP 225点以上	6. TEAP CBT 420点以上
7. TOEFL iBT® 42点以上(団体受験のスコア及びTOEFL iBT® Home Editionは利用できません。Test Dateスコアのみ利用可能です。My Best™スコアは利用できません。)	8. TOEIC® L&R/S&W 1150点以上(IPテストのスコアは利用できません。TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にし、TOEIC® L&Rと合算したスコアとします。)

※いずれの試験においても4技能合計のスコアです。

※いずれの試験においても異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。ただし、実用英語技能検定の一次試験免除者については、二次試験受験時に申請した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組み合わせを認めます。この場合、二次試験を2023年10月以降に受験し、取得したスコアを有効とします。

【ドイツ語】

1. ドイツ語技能検定3級以上
2. ゲーテ・ドイツ語検定試験 A1以上
3. オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験 A1以上

【フランス語】

1. 実用フランス語技能検定3級以上
2. DELF・DALF A1以上
3. TCF A1以上
4. TEF A1以上

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査	調査書、志望理由書、外国語能力
二次選考	筆記試験、面接(主として日本語)	筆記試験 50%、 出願書類(外国語資格・検定試験の証明書を含む)及び 面接 50%

二次選考詳細 ＊辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません

試験日:10月12日(日)

- (1)筆記試験:90分。英語、ドイツ語、フランス語のうちから試験時に選択する言語についての語学力判定問題を含む日本語小論文。
- (2)面接:主として日本語で行います。グループ方式。面接時間はグループの人数によります。面接は、小論文の内容、出願書類、合格(又はスコア)の証明書を提出した言語の口頭での運用能力に関する質疑応答を含みます。

3. 出願書類

下記の出願書類①～⑤を、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。

- ① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※
- ② 調査書(又はそれに代わる書類)
- ③ 志望理由書※(Word等のワープロソフトを使用して入力してください)
- ④ 外国語資格・検定試験の合格証明書又はスコアを証明する書類の写し
- ⑤ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。

※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)

【B. 学科適性重視方式】

学科の教育内容に関係の深いヨーロッパの言語・文学・芸術・生活・歴史・思想・環境・社会などの専門分野を学ぶ意欲や適性があるか、思考力や文章表現力があるか、対話力、主体性、協調性が備わっているかを総合的に評価します。

1. 出願資格

8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)を満たすこと。

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査	調査書、学科適性理由書
二次選考	筆記試験、面接(日本語)	筆記試験 50%、 出願書類(学科適性理由書を含む)及び 面接 50%

二次選考詳細 ***辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません**

試験日:10月12日(日)

- (1)筆記試験:90分。ヨーロッパ文化に関する日本語小論文。英語、ドイツ語、フランス語のいずれかの基礎語彙を問う小問も含まれます(試験時に選択)。
- (2)面接:日本語で行います。グループ方式。面接時間はグループの人数によります。面接は、小論文の内容、出願書類、学科の専門分野への適性に関する質疑応答を含みます。

3. 出願書類

下記の出願書類①～④を、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。

- ① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※
 - ② 調査書(又はそれに代わる書類)
 - ③ 学科適性理由書※… 詳細は下記4を参照してください。
 - ④ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。
- *英語、ドイツ語、フランス語の資格を取得している場合は、③学科適性理由書の該当欄に記載の上、証明書の写しを出願書類に同封してください。何も取得していない場合は、不要です。

※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)

4. 学科適性理由書について

- (1)ヨーロッパ文化学科において4年間を通して学びたい内容とその理由を、本学の大学案内および本学科の授業案内(シラバス)を確認した上で、述べてください。大学案内およびシラバスは以下の方法で確認できます。
- (2)以上を具体的に、A4用紙1枚(800字程度)にまとめ、Word等のワープロソフトを使用して入力してください。

<大学案内の確認方法>

- ・武蔵大学の公式Webサイト(<https://www.musashi.ac.jp>)の「資料請求」のページから閲覧または送付依頼ができます。大学案内に掲載された学科紹介のページから授業科目名や教員名を確認します。
- ・以下のURLでは、ヨーロッパ文化学科の専任教員やゼミの紹介を行っています。
(https://www.musashi.ac.jp/faculty/humanities/european_studies/index.html)

<シラバスの確認方法>

- ① 武蔵大学のポータルサイト3S(Musashi Study Support System)のログイン画面を開く。
(PC専用サイトログイン画面 URL <https://3s.musashi.ac.jp>)
- ② 「ゲストユーザー(シラバス照会)はこちら」をクリックする。
- ③ シラバス検索画面が出てくるので、ヨーロッパ文化学科のシラバスを検索して確認する。
※「授業科目」欄には上記の大学案内やURLなどで確認した科目名を入力してください。この際、「開講年度学期」欄はデフォルトで「春学期」または「秋学期」指定となるので、「すべて対象」を選ぶようにしてください。
※前年度以前の授業シラバスも選択・確認できます(隔年開講の授業もあります)。
※「担当教員」欄は、姓と名の間にスペースを入れてください。

人文学部(日本・東アジア文化学科)

日本・東アジア文化学科の総合型選抜入試には「語学力・文化理解力重視方式」と「テーマ追究方式」があります。

【A. 語学力・文化理解力重視方式】

入学後に外国語の習得に力を注ぎ、留学や国際交流に積極的に取り組む意思があるか、学科の教育内容に関係の深い日本と東アジアの言語・文学・思想・芸術・歴史・民俗・宗教・社会などの専門分野を学ぶ意欲や適性があるか、思考力や文章表現力があるか、対話力、主体性、協調性が備わっているかを総合的に評価します。

1. 出願資格

8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)に加え、以下の条件を満たすこと。
英語、中国語、韓国語能力のいずれかが以下のいずれかの基準を満たしていること(ただし、2023年10月以降に受験したものに限る)。外国語能力を確認できる書類については、次ページ「3.出願書類④」を参照してください。

【英語】

1. ケンブリッジ英語検定 140以上(Linguaskillの場合、公開受験のスコアを有効とします。自宅受験のスコアは利用できません。)	2. 実用英語技能検定CSE 1950以上(受験した級に合格していない場合でも出願可能です。ただし、準2級以上に限ります。英検S-CBT、英検S-Interviewも利用可能です。)
3. GTEC 930点以上(オフィシャルスコアに限り。検定版、CBTタイプが利用可能です。)	4. IELTSオーバーオール・バンド・スコア4.0以上(アカデミック・モジュールに限り。IELTSコンピュータ版も利用可能です。)
5. TEAP 225点以上	6. TEAP CBT 420点以上
7. TOEFL iBT® 42点以上(団体受験のスコア及びTOEFL iBT® Home Editionは利用できません。Test Dateスコアのみ利用可能です。My Best™スコアは利用できません。)	8. TOEIC® L&R/S&W 1150点以上(IPテストのスコアは利用できません。TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にし、TOEIC® L&Rと合算したスコアとします。)

※いずれの試験においても4技能合計のスコアです。
※いずれの試験においても異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。ただし、実用英語技能検定の一次試験免除者については、二次試験受験時に申請した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組み合わせを認めます。この場合、二次試験を2023年10月以降に受験し、取得したスコアを有効とします。

【中国語】

- 1. 中国語検定3級以上
- 2. HSK筆記試験4級以上
- 3. TOCFL Level 3以上(聞き取りと読解の両項目を含むこと)

【韓国語】

- 1. ハングル能力検定3級以上
- 2. 韓国語能力試験(TOPIK)3級以上

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査	調査書、志望理由書、外国語能力
二次選考	筆記試験、面接(主として日本語)	筆記試験 50%、 出願書類(外国語資格・検定試験の証明書を含む)及び 面接 50%

二次選考詳細 *辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません

試験日:10月12日(日)

- (1)筆記試験:90分。英語の語学力判定問題を含む日本語小論文。
- (2)面接:主として日本語で行います。グループ方式。面接時間はグループの人数によります。面接は、小論文の内容及び出願書類に関する質疑応答を含みます。

3. 出願書類

下記の出願書類①～⑤を、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください

- ① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※
- ② 調査書(又はそれに代わる書類)
- ③ 志望理由書※(Word等のワープロソフトを使用して入力してください)
- ④ 外国語資格・検定試験の合格証又はスコアを証明する書類の写し
- ⑤ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。

※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)

【B. テーマ追究方式】

学科の教育内容に関係の深い日本と東アジアの言語・文学・思想・芸術・歴史・民俗・宗教・社会などのテーマについて、自ら積極的かつ正確に調べ、意見を述べる力があるか、思考力や文章表現力があるか、対話力、主体性等が備わっているかを総合的に評価します。

1. 出願資格

8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)を満たすこと。

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査	調査書、志望理由書、課題レポート
二次選考	筆記試験、面接(主として日本語)	筆記試験 50%、 出願書類(課題レポートを含む)及び 面接 50%

二次選考詳細 ＊辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません

試験日:10月12日(日)

(1)筆記試験:90分。英語の語学力判定問題を含む日本語小論文。

(2)個別面接:主として日本語で行います。

- ・小論文の内容に関する質疑応答を含みます。
- ・課題レポートの内容に関する質疑応答を行います。まず、レポートの内容(どのテーマを選び、どういう点に興味を持ち、何を調べ、どういう結論に至ったか等)を口頭で簡潔にまとめ、その後に教員からの質問に答えます。
- ※課題レポートのコピー(自分用)を面接会場に必ず持参してください。

3. 出願書類

下記の出願書類①～⑤を、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。

- ① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※
- ② 調査書(又はそれに代わる書類)
- ③ 志望理由書※(Word等のワープロソフトを使用して入力してください)
- ④ 課題レポート… 詳細は下記4を参照してください
- ⑤ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。

※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)

4. 課題レポートについて

(1)日本・東アジア文化学科において4年間を通して学修する研究テーマを選びます。研究テーマは、本学科の授業案内(シラバス)を確認した上で、決めてください。シラバスは以下の方法で閲覧できます。

＜シラバスの確認方法＞

- ① 武蔵大学のポータルサイト3S(Musashi Study Support System)のログイン画面を開く。
(PC専用サイトログイン画面 URL <https://3s.musashi.ac.jp>)
- ② 「ゲストユーザー(シラバス照会)はこちら」をクリックする。
- ③ シラバス検索画面が出てくるので、日本・東アジア文化学科のシラバスを検索して確認する。
※キーワードは日本・東アジア文化学科の専任教員の名前・専門領域・担当授業などを入力してください。
※日本・東アジア文化学科の専任教員とゼミ紹介は以下のURLを参照してください。
(https://www.musashi.ac.jp/faculty/humanities/japanese_and_east_asian_studies/seminar_list.html)

- (2) そのうえで、4年後の卒業論文につながるテーマに関連した文献や資料(論文、新聞、雑誌など)を読み、それらに示されている見解や調査とは区別しながら、自身の分析や考察、見解を示してください。
- (3) 二次選考当日午後の個別面接の際に、課題レポートの内容の中で特に強調したい点をプレゼンテーション(簡潔に5分程度)していただきます。その際、必要の場合は掲示物やPC・タブレットの使用、レポートの要点や追加資料をまとめたレジюмеなどを用いても構いません。
- (4) レポートはワープロ書きとし、A4用紙(36字×40行)4枚程度とします。
以下のような体裁で書き出しましょう。

夏目漱石の小説におけるコミュニケーション

(氏名)〇〇 〇〇

1 はじめに

漱石の小説では会話の表現が筋の展開や人間の心理描写において重要な役割を担っている。

会話表現は漱石の創作には違いなく、落語の影響があることも明らかにされている¹⁾。漱石の作品が近代日本という歴史的背景のなかで生み出されたことを考えれば、漱石作品の会話が近代という時代背景の上で成り立っていることは疑いない。夏目漱石の小説を資料にして、近代におけるコミュニケーションの特徴を研究し、成果を発表する。

.....

:

-
- 1) 水川隆夫『増補 漱石と落語』平凡社(平凡社ライブラリー)、2000年、116ページ以下。

- (あ) 内容は、本文以外に、図表、資料などがあってもかまいません。
また末尾に本文で触れた参考文献のリストを付け加えてください。
- (い) 資料の出典(著者名、書名、出版社名、刊行年、参照ページ)は脚注で明示しましょう。
- (う) 本文は、上のサンプルのように文章形式でも良いですし、適宜、箇条書きなどを加えた形式でもかまいません。
また文体は「である」調に統一して書き、文章は意味段落にきちんと分け、段落の最初は1字ずつ下げてから書いてください。

社会学部(社会学科)

社会学科の総合型選抜入試には「ゼミ力重視方式」と「将来計画書方式(GDS)」があります。入学後にGDS※に所属を希望するかしないかで提出する書類、試験内容が異なるので注意してください。
※GDS:グローバル・データサイエンスコースの略称です。6ページを参照してください。

【A. ゼミ力重視方式】(専願型)

一定の学力を前提に、小論文では資料の適切な読み取りや説得的な議論を展開する力を、面接では応答力やディスカッション力を、総合的に評価し、社会学部で主体的に学ぶ意欲や適性、特にゼミでの学びを活かすことができるかどうかを選考します。
なお、「ゼミ力重視方式」は、「専願型」入試です。合格した場合に武蔵大学社会学部社会学科への入学を確約できることが、出願の条件となります。

1. 出願資格

8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)に加え、次のいずれかを受検し、合格や成績を証明する書類を提出できること。いずれの試験においても英語4技能の資格・検定試験結果を提出すること(ただし、2023年10月以降に受検したものに限る)。

1. ケンブリッジ英語検定 140以上(Linguaskillの場合、公開受検のスコアを有効とします。自宅受検のスコアは利用できません。)	2. 実用英語技能検定CSE 1950以上(受検した級に合格していない場合でも出願可能です。ただし、準2級以上に限ります。英検S-CBT、英検S-Interviewも利用可能です。)
3. GTEC 930点以上(オフィシャルスコアに限ります。検定版、CBTタイプが利用可能です。)	4. IELTSオーバーオール・バンド・スコア4.0以上(アカデミック・モジュールに限ります。IELTSコンピュータ版も利用可能です。)
5. TEAP 225点以上	6. TEAP CBT 420点以上
7. TOEFL iBT® 42点以上(団体受験のスコア及びTOEFL iBT® Home Editionは利用できません。Test Dateスコアのみ利用可能です。My Best™スコアは利用できません。)	8. TOEIC® L&R/S&W 1150点以上(IPテストのスコアは利用できません。TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にし、TOEIC® L&Rと合算したスコアとします。)

※いずれの試験においても4技能合計のスコアです。
※いずれの試験においても異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。ただし、実用英語技能検定の一次試験免除者については、二次試験受験時に申請した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組み合わせを認めます。この場合、二次試験を2023年10月以降に受験し、取得したスコアを有効とします。

また、以下の数学または統計の資格を証明する書類を追加で提出した者には、一次選考の際に加点します。
・実用数学検定 準2級合格以上(個別成績表も提出)
・統計検定 3級合格以上(CBT 方法試験、PBT 方式試験いずれも利用可能。試験結果レポートも提出)

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査	調査書・自己紹介書 20%、英語資格書類 50%、将来計画書 30%
二次選考	筆記試験(小論文)、面接	小論文 40%、面接 60%

二次選考詳細 ※辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません
試験日:10月12日(日)

- (1)筆記試験:80分、小論文800字程度。
- (2)面接:グループ面接。ディスカッションを行います。

3. 出願書類

下記の出願書類①～⑦を、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。

- ① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※
 - ② 調査書(又はそれに代わる書類)
 - ③ 自己紹介書※
 - ④ 将来計画書(1,500字程度)
 - ⑤ 英語資格・検定試験(4技能)の合格証明書又はスコアを証明する書類の写し
 - ⑥ 【該当者のみ】実用数学検定または統計検定の合格とスコアを証明する書類の写し
 - ⑦ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。
- ※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)

4. 自己紹介書記入上の注意

所定の用紙を用いて、自分を紹介してください。とくに、これまで何を勉強してきたのか、また将来、何を学びたいのか、何をしたいのか、が具体的に分かるように書いてください。

5. 将来計画書について

(1) 自分がこれまで取り組んだことや学んだことを踏まえて、社会学科に入学して何を学びたいか、そして武蔵大学社会学部で学んだことを活かしてどのように社会に貢献したいか、あなたの将来ビジョンを描いてください。社会のどのような課題に関わり、どのような貢献をしたいか、ゼミで学びたい内容や卒業後に活動したい領域なども含め、具体的かつ説得的に書いてください。

(2) 体裁について

- ① 分量:1,500字程度(図表、写真、文献リストは文字数に含みません)
- ② 様式:Word等のワープロソフトを使用し作成してください。その際、A4サイズ1ページあたり40字×35行(マージン:上下左右30mm)で設定してください。
- ③ 内容:以下の内容を必ず盛り込んでください。
 - i) タイトルと氏名:自分なりのタイトルをつけてください。
 - ii) 将来のビジョンについての説明:できるだけ具体的に書いてください。
- ④ 注意:文献を引用する場合、自分の意見と文献や資料などで述べられている意見とを区別してください。具体的には、文献や資料などに記載されている内容をそのままレポートに用いる(引用する)場合は、その部分を「」(一重カッコ)で囲むとともに、文献名や資料名、その著者名などを明記してください。文献名などを示さずに引用したり、わずかに改編しただけの文章を用いたりした場合には、盗作とみなされます。詳しくは、以下のテキストの12章を参照してください。
南田勝也・矢田部圭介・山下玲子, 2024, 『新版 ゼミで学ぶスタディスキル』北樹出版。

【B. 将来計画書方式(GDS)】

GDS※で学び身につけた能力にもとづいて将来自分がどのように社会で活躍したいか、その将来計画書を基に、面接でのプレゼンテーションやディスカッションも加味して、大学で社会学、メディア研究を学ぶ上で必要な問題関心を持ち、それを調べ表現するための知識、スキル、意欲があるかを選考します。この方式での合格者は、自動的にGDSへの所属となります。通常コースの所属はできません。

※GDS:グローバル・データサイエンスコースの略称です。6ページを参照してください。

1. 出願資格

8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)に加え、次のいずれかを受検し、合格や成績を証明する書類を提出できること。いずれの試験においても英語4技能の資格・検定試験結果を提出すること。若しくは、数学か情報処理に関する能力を証明する(各種技能検定等)書類を提出できること(ただし、2023年10月以降に受検したものに限る)。

1. ケンブリッジ英語検定(Linguaskillの場合、公開受検のスコアを有効とします。自宅受検のスコアは利用できません。)	2. 実用英語技能検定(受検した級に合格していない場合でも出願可能です。ただし、準2級以上に限ります。英検S-CBT、英検S-Interviewも利用可能です。)
3. GTEC(オフィシャルスコアに限ります。検定版、CBTタイプが利用可能です。)	4. IELTSオーバーオール・バンド・スコア(アカデミック・モジュールに限ります。IELTSコンピュータ版も利用可能です。)
5. TEAP	6. TEAP CBT
7. TOEFL iBT®(団体受験のスコア及びTOEFL iBT® Home Editionは利用できません。Test Dateスコアのみ利用可能です。My Best™スコアは利用できません。)	8. TOEIC® L&R/S&W(IPテストのスコアは利用できません。)

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査	自己紹介関連書類★ 40%、将来計画書 60%
二次選考	筆記試験(小論文)、面接	小論文 40%、面接 60%

★自己紹介関連書類は、下記「3. 出願書類」の②～④です。

二次選考詳細 ＊辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません

試験日:10月12日(日)

(1)筆記試験:80分、小論文800字程度。

(2)面接:グループ面接。冒頭で英語面接を行います。また、各自5分ずつ、将来計画書についてプレゼンテーションをしていただきます。その後、全体でディスカッションを行います。

3. 出願書類

下記の出願書類①～⑦を、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください

① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※

② 調査書(又はそれに代わる書類)

③ 自己紹介書※

④ 自己アピール文(1,000字程度)

⑤ 将来計画書(1,500字程度)

⑥ 英語資格・検定試験(4技能)の合格証明書又はスコアを証明する書類の写し

若しくは、数学か情報処理に関する能力を証明する(各種技能検定等)書類の写し

⑦ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。

※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)

4. 出願書類記入上の注意

(1) 自己紹介書

所定の用紙を用いて、自分を紹介してください。とくに、これまで何を勉強してきたのか、また将来、何を学びたいのか、何をしたいのかが具体的に分かるように書いてください。

(2) 自己アピール文:1,000字程度

自己紹介書をもとに、あなた自身をアピールしてください。なお、課外活動、地域活動(ボランティア、NPO活動など)、留学など特記すべきことがあれば、それを中心に執筆してください。

活動や実績に関する資料(制作物、配付資料、賞状、新聞・雑誌・広報紙等の記事など)がある場合は、A4サイズのコピーを同封してください。

Word等のワープロソフトを使用し作成してください。その際、A4サイズ1ページあたり40字×35行(マージン:上下左右30mm)で設定してください。

5. 将来計画書について

(1) 自分が大学4年間で身につけた英語力及びデータ分析力を活用して、どのようにグローバル社会に貢献したいか、あなたの将来ビジョンを書いてください。社会のどのような課題に関わり、どのような貢献をしたいか、日本語で具体的に書いてください。

(2) 体裁について

① 分量:1,500字程度(図表、写真、文献リストは文字数に含みません)

② 様式:Word等のワープロソフトを使用し作成してください。その際、A4サイズ1ページあたり40字×35行(マージン:上下左右30mm)で設定してください。

③ 内容:以下の内容を必ず盛り込んでください。

i) タイトルと氏名:自分なりのタイトルをつけてください。

ii) 将来のビジョンについての説明:できるだけ具体的に書いてください。

④ 注意:文献を引用する場合、自分の意見と文献や資料などで述べられている意見とを区別してください。具体的には、文献や資料などに記載されている内容をそのままレポートに用いる(引用する)場合は、その部分を「」(一重カッコ)で囲むとともに、文献名や資料名、その著者名などを明記してください。文献名などを示さずに引用したり、わずかに改編しただけの文章を用いたりした場合には、盗作とみなされます。詳しくは、以下のテキストの12章を参照してください。

南田勝也・矢田部圭介・山下玲子, 2024, 『新版 ゼミで学ぶスタディスキル』北樹出版。

社会学部(メディア社会学科)

メディア社会学科の総合型選抜入試には「ゼミ力重視方式」、「メディア・クリエーション方式」と「将来計画書方式(GDS)」があります。

【A. ゼミ力重視方式】(専願型)

一定の学力を前提に、小論文では資料の適切な読み取りや説得的な議論を展開する力を、面接では応答力やディスカッション力を、総合的に評価し、社会学部で主体的に学ぶ意欲や適性、特にゼミでの学びを活かすことができるかどうかを選考します。
なお、「ゼミ力重視方式」は、「専願型」入試です。合格した場合に武蔵大学社会学部メディア社会学科への入学を確約できることが、出願の条件となります。

1. 出願資格

8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)に加え、次のいずれかを受検し、合格や成績を証明する書類を提出できること。いずれの試験においても英語4技能の資格・検定試験結果を提出すること(ただし、2023年10月以降に受検したものに限る)。

1. ケンブリッジ英語検定 140以上(Linguaskillの場合、公開受検のスコアを有効とします。自宅受検のスコアは利用できません。)	2. 実用英語技能検定CSE 1950以上(受検した級に合格していない場合でも出願可能です。ただし、準2級以上に限ります。英検S-CBT、英検S-Interviewも利用可能です。)
3. GTEC 930点以上(オフィシャルスコアに限り。検定版、CBTタイプが利用可能です。)	4. IELTSオーバーオール・バンド・スコア4.0以上(アカデミック・モジュールに限り。IELTSコンピュータ版も利用可能です。)
5. TEAP 225点以上	6. TEAP CBT 420点以上
7. TOEFL iBT® 42点以上(団体受験のスコア及びTOEFL iBT® Home Editionは利用できません。Test Dateスコアのみ利用可能です。My Best™スコアは利用できません。)	8. TOEIC® L&R/S&W 1150点以上(IPテストのスコアは利用できません。TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にし、TOEIC® L&Rと合算したスコアとします。)

※いずれの試験においても4技能合計のスコアです。
※いずれの試験においても異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。ただし、実用英語技能検定の一次試験免除者については、二次試験受験時に申請した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組み合わせを認めます。この場合、二次試験を2023年10月以降に受検し、取得したスコアを有効とします。

また、以下の数学または統計の資格を証明する書類を追加で提出した者には、一次選考の際に加点します。
・実用数学検定 準2級合格以上(個別成績表も提出)
・統計検定 3級合格以上(CBT 方法試験、PBT 方式試験いずれも利用可能。試験結果レポートも提出)

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査	調査書・自己紹介書 20%、英語資格書類 50%、将来計画書 30%
二次選考	筆記試験(小論文)、面接	小論文 40%、面接 60%

二次選考詳細 ＊辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません
試験日:10月12日(日)

- (1)筆記試験:80分、小論文800字程度。
(2)面接:グループ面接。ディスカッションを行います。

3. 出願書類

下記の出願書類①～⑦を、角2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。

- ① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※
 - ② 調査書(又はそれに代わる書類)
 - ③ 自己紹介書※
 - ④ 将来計画書(1,500字程度)
 - ⑤ 英語資格・検定試験(4技能)の合格証明書又はスコアを証明する書類の写し
 - ⑥ 【該当者のみ】実用数学検定または統計検定の合格とスコアを証明する書類の写し
 - ⑦ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。
- ※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)

4. 自己紹介書記入上の注意

所定の用紙を用いて、自分を紹介してください。とくに、これまで何を勉強してきたのか、また将来、何を学びたいのか、何をしたいのか、が具体的に分かるように書いてください。

5. 将来計画書について

(1) 自分がこれまで取り組んだことや学んだことを踏まえて、メディア社会学科に入学して何を学びたいか、そして武蔵大学社会学部で学んだことを活かしてどのように社会に貢献したいか、あなたの将来ビジョンを描いてください。社会のどのような課題に関わり、どのような貢献をしたいか、ゼミで学びたい内容や卒業後に活動したい領域なども含め、具体的かつ説得的に書いてください。

(2) 体裁について

- ① 分量:1,500字程度(図表、写真、文献リストは文字数に含みません)
- ② 様式:Word等のワープロソフトを使用し作成してください。その際、A4サイズ1ページあたり40字×35行(マージン:上下左右30mm)で設定してください。
- ③ 内容:以下の内容を必ず盛り込んでください。
 - i) タイトルと氏名:自分なりのタイトルをつけてください。
 - ii) 将来のビジョンについての説明:できるだけ具体的に書いてください。
- ④ 注意:文献を引用する場合、自分の意見と文献や資料などで述べられている意見とを区別してください。具体的には、文献や資料などに記載されている内容をそのままレポートに用いる(引用する)場合は、その部分を「」(一重カッコ)で囲むとともに、文献名や資料名、その著者名などを明記してください。文献名などを示さずに引用したり、わずかに改編しただけの文章を用いたりした場合には、盗作とみなされます。詳しくは、以下のテキストの12章を参照してください。
南田勝也・矢田部圭介・山下玲子、2024、『新版 ゼミで学ぶスタディスキル』北樹出版。

【B.メディア・クリエーション方式】

文章や映像などを組み合わせて作成したオンラインポートフォリオによる表現で、自己PR、クリエイティビティ、セルフプロデュース、Web表現などの能力を測り、本人によるプレゼンテーションも加味して、大学でメディア社会学を学ぶ素養や意欲があるかを選考します。

1. 出願資格

8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)を満たすこと。

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査 オンラインポートフォリオ審査	自己紹介書 20%、調査書 20%、 オンラインポートフォリオの出来映え 60%
二次選考	筆記試験(小論文)、面接	小論文 40% オンラインポートフォリオのプレゼンテーション面接 60%

二次選考詳細 *辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません

試験日:10月12日(日)

(1)筆記試験:80分、小論文800字程度。

(2)面接:個別面接。

3. 出願書類等

下記の出願書類①～⑥、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。

① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※

② 調査書(またはそれに代わる書類)

③ 自己紹介書※

④ 英語資格・検定試験の合格証明書又はスコアを証明する書類の写し

英語資格・検定試験を受検したことがない場合は、学校の英語の成績、英語サークルでの活動、英語で交流した経験など、自分の英語能力をアピールする文書(A4サイズ1ページ以内)

⑤ 作品概要書:A4一枚、書式自由とするが、以下の3点について必ず記載すること

1. オンラインポートフォリオのリンク先(URLおよびQRコード)

※9月1日(月)～10月12日(日)の期間中に閲覧できるURLを必ず記載すること。

2. オンラインポートフォリオが完成した日時

3. オンラインポートフォリオの概要

⑥ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。

※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)

4. 出願書類等についての注意

(1)自己紹介書

所定の用紙を用いて、自分を紹介してください。とくに、これまで何を勉強してきたのか、また将来、何を学びたいのか、何をしたいのかが具体的に分かるように書いてください。

(2)英語資格・検定試験の合格証明書又はスコアを証明する書類の写し

次のいずれかを受検したことがあれば、その合格や成績を証明する書類の写しを同封してください(ただし、2023年10月以降に受検したものに限り)。

いずれも受検したことがない場合は、A4サイズ1ページ以内で、学校の英語の成績、英語サークルでの活動、英語で交流した経験など、自分の英語能力をアピールする文書を作り、同封してください。

1. ケンブリッジ英語検定 (Linguaskillの場合、公開受検のスコアを有効とします。自宅受検のスコアは利用できません。)	2. 実用英語技能検定 (受検した級に合格していない場合でも出願可能です。ただし、準2級以上に限ります。英検S-CBT、英検S-Interviewも利用可能です。)
3. GTEC (オフィシャルスコアに限ります。検定版、CBTタイプが利用可能です。)	4. IELTSオーバーオール・バンド・スコア (アカデミック・モジュールに限ります。IELTSコンピュータ版も利用可能です。)
5. TEAP	6. TEAP CBT
7. TOEFL iBT [®] (団体受験のスコア及びTOEFL iBT [®] Home Editionは利用できません。Test Dateスコアのみ利用可能です。My Best [™] スコアは利用できません。)	8. TOEIC [®] L&R/S&W (IPテストのスコアは利用できません。)

(3) オンラインポートフォリオ

(作品そのものではなく、URLおよびQRコードの記載をした作品概要書を提出してください)。

オンラインポートフォリオとは、インターネットで閲覧できる形式のポートフォリオのことです。文章、映像、アニメーション、写真、メディアアート、音楽、SNSなど、何らかのメディアやコンテンツを使って表現した作品を、Web形式で閲覧できる構造に組み立てて形にしてください。

オンラインポートフォリオが何のことか分からない人は、インターネットなどで検索をして調べてください。高度なプログラミング知識は必要なく、無料で作成できるWebサイトが多くあります。(ただし、ポートフォリオ内に配置するコンテンツやメディアに関しては、映像なら映像、ストリーミングならストリーミングの作成に関する知識が必要なことは言うまでもありません)。

どういったオンラインポートフォリオ・サービスを利用したかについても審査の対象としますが、無料サービス(広告が出てくる)と有料サービスとの差異は評価に影響しません。

本学科はメディア社会学を学ぶ場所ですので、あまりにも抽象的な表現や説明不足な作品は、それがいかに芸術的に優れていたとしても、評価の点数としては低くなります。広い意味でのメディア研究・社会学研究に通じる表現を期待します。

著作権もしくは商標の侵害その他の知的財産の不正利用、なりすまし、不法行為、ヘイトスピーチ、特定の人や組織を標的とした誹謗中傷や嫌がらせについては、それらに類する表現が見受けられた時点で審査対象から除外します。(著作権や商標の侵害に関しては、たとえば映像作品を制作した場合、事前にYouTubeにアップロードすると、規約違反にならないかどうかの簡易チェックができます)。

(4) オンラインポートフォリオの閲覧期間

9月1日(月)～10月12日(日)の期間中に閲覧できるURLを記載してください。この期間中にフリーズする、切り替えが遅いなどの不具合が生じないよう、複数のデバイスで動作確認をしたうえで提出してください。

また、二次選考日には、自分自身が(大学側で貸し出すWindowsのPCの操作によって)Webにアクセスしてプレゼンテーションできるようにしてください。何らかの理由で接続ができないときのために、インターネットに接続しなくても、プレゼンテーションができるように準備してください。

なお、作品概要書に記載した「完成した日時」以降、内容の改変はしないでください(大幅な減点対象となります)。

C. 将来計画書方式(GDS)

GDS[※]で学び身につけた能力にもとづいて将来自分がどのように社会で活躍したいか、その将来計画書を基に、面接でのプレゼンテーションやディスカッションも加味して、大学で社会学、メディア研究を学ぶ上で必要な問題関心を持ち、それを調べ表現するための知識、スキル、意欲があるかを選考します。この方式での合格者は、自動的にGDSへの所属となります。通常コースの所属はできません。

※GDS:グローバル・データサイエンスコースの略称です。6ページを参照してください。

1. 出願資格

8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)に加え、次のいずれかを受検し、合格や成績を証明する書類を提出できること。

いずれの試験においても英語4技能の資格・検定試験結果を提出すること。若しくは、数学か情報処理に関する能力を証明する(各種技能検定等)書類を提出できること(ただし、2023年10月以降に受検したものに限る)。

1. ケンブリッジ英語検定(Linguaskillの場合、公開受検のスコアを有効とします。自宅受検のスコアは利用できません。)	2. 実用英語技能検定(受検した級に合格していない場合でも出願可能です。ただし、準2級以上に限ります。英検S-CBT、英検S-Interviewも利用可能です。)
3. GTEC(オフィシャルスコアに限り。検定版、CBTタイプが利用可能です。)	4. IELTSオーバーオール・バンド・スコア(アカデミック・モジュールに限り。IELTSコンピュータ版も利用可能です。)
5. TEAP	6. TEAP CBT
7. TOEFL iBT [®] (団体受験のスコア及びTOEFL iBT [®] Home Editionは利用できません。Test Dateスコアのみ利用可能です。My Best TM スコアは利用できません。)	8. TOEIC [®] L&R/S&W(IPテストのスコアは利用できません。)

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査	自己紹介関連書類★ 40%、将来計画書 60%
二次選考	筆記試験(小論文)、面接	小論文 40%、面接 60%

★自己紹介関連書類は、下記「3.出願書類」の②～④です。

二次選考詳細 ＊辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません

試験日:10月12日(日)

(1)筆記試験:80分、小論文800字程度。

(2)面接:グループ面接。冒頭で英語面接を行います。また、各自5分ずつ、将来計画書についてプレゼンテーションをしていただきます。その後、全体でディスカッションを行います。

3. 出願書類

下記の出願書類①～⑦を、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」[※]を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。

① 志願票(A票)[※]・対照票(B票)[※]・受験票(C票)[※]

② 調査書(又はそれに代わる書類)

③ 自己紹介書[※]

④ 自己アピール文(1,000字程度)

⑤ 将来計画書(1,500字程度)

⑥ 英語資格・検定試験(4技能)の合格証明書又はスコアを証明する書類の写し

若しくは、数学か情報処理に関する能力を証明する(各種技能検定等)書類の写し

⑦ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。

※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)

4. 出願書類記入上の注意

(1) 自己紹介書

所定の用紙を用いて、自分を紹介してください。とくに、これまで何を勉強してきたのか、また将来、何を学びたいのか、何をしたいのかが具体的に分かるように書いてください。

(2) 自己アピール文:1,000字程度

自己紹介書をもとに、あなた自身をアピールしてください。なお、課外活動、地域活動(ボランティア、NPO活動など)、留学など特記すべきことがあれば、それを中心に執筆してください。

活動や実績に関する資料(制作物、配付資料、賞状、新聞・雑誌・広報紙等の記事など)がある場合は、A4サイズのコピーを同封してください。

Word等のワープロソフトを使用し作成してください。その際、A4サイズ1ページあたり40字×35行(マージン:上下左右30mm)で設定してください。

5. 将来計画書について

(1) 自分が大学4年間で身につけた英語力及びデータ分析力を活用して、どのようにグローバル社会に貢献したいか、あなたの将来ビジョンを書いてください。社会のどのような課題に関わり、どのような貢献をしたいか、日本語で具体的に書いてください。

(2) 体裁について

① 分量:1,500字程度(図表、写真、文献リストは文字数に含みません)

② 様式:Word等のワープロソフトを使用し作成してください。その際、A4サイズ1ページあたり40字×35行(マージン:上下左右30mm)で設定してください。

③ 内容:以下の内容を必ず盛り込んでください。

i) タイトルと氏名:自分なりのタイトルをつけてください。

ii) 将来のビジョンについての説明:できるだけ具体的に書いてください。

④ 注意:文献を引用する場合、自分の意見と文献や資料などで述べられている意見とを区別してください。具体的には、文献や資料などに記載されている内容をそのままレポートに用いる(引用する)場合は、その部分を「」(一重カッコ)で囲むとともに、文献名や資料名、その著者名などを明記してください。文献名などを示さずに引用したり、わずかに改編しただけの文章を用いたりした場合には、盗作とみなされます。詳しくは、以下のテキストの12章を参照してください。

南田勝也・矢田部圭介・山下玲子, 2024, 『新版 ゼミで学ぶスタディスキル』北樹出版。

国際教養学部(国際教養学科 経済経営学専攻)

【Admissions Office型(AO型)】

経済経営学専攻の総合型選抜入試では、同専攻の学びの特徴であるPDP履修に対する適性や意欲に基づいて選考します。具体的には、武蔵大学とロンドン大学両方の学位取得を目指す上で重要と目される高い英語力と基礎的な数学の素養、PDP履修に対する意欲を主な軸として総合的に評価します。

※国際教養学部 総合型選抜国際バカロレアDP型入試、MYP型入試について
別要項「国際教養学部 総合型選抜国際バカロレア利用入学試験募集要項」をご確認ください。

1. 出願資格等

- 8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)に加え、以下①・②の条件をすべて満たす者。
①「ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラム(PDP)」に参加し、両大学の学位取得を目指す者。
② 英語能力が以下のいずれかの基準を満たしていること(ただし、2023年10月以降に受験したものに限る)。

1. ケンブリッジ英語検定 154以上(Linguaskillの場合、公開受験のスコアを有効とします。自宅受験のスコアは利用できません。)	2. 実用英語技能検定 CSE 2184以上(受験した級に合格していない場合でも出願可能です。ただし、準2級以上に限ります。英検S-CBT、英検S-Interviewも利用可能です。)
3. GTEC 1097点以上(オフィシャルスコアに限る。検定版、CBTタイプが利用可能です。)	4. IELTSオーバーオール・バンド・スコア5.0以上(アカデミック・モジュールに限る。IELTSコンピュータ版も利用可能です。)
5. TEAP 281点以上	6. TEAP CBT 540点以上
7. TOEFL iBT® 62点以上(団体受験のスコア及びTOEFL iBT® Home Editionは利用できません。Test Dateスコアのみ利用可能です。My Best™スコアは利用できません。)	8. TOEIC® L&R/S&W 1425点以上(IPテストのスコアは利用できません。TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にし、TOEIC® L&Rと合算したスコアとします。)
9. Duolingo English Test 80点以上	

※いずれの試験においても4技能合計のスコアです。
※いずれの試験においても異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。ただし、実用英語技能検定の一次試験免除者については、二次試験受験時に申請した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組み合わせを認めます。この場合、二次試験を2023年10月以降に受験し、取得したスコアを有効とします。
(注意) PDPの履修には、ロンドン大学の語学要件(IELTS オーバーオール・バンド・スコア5.5以上、各項目で5.0以上)を2026年8月末までに満たす必要があります。

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査	調査書、志望理由書、英語能力
二次選考	筆記試験、面接(日本語及び英語)	出願書類(英語資格・検定試験の証明書を含む) 20%、筆記試験 60%、面接 20%

二次選考詳細 ※辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません
試験日:10月12日(日)

- (1)筆記試験:100分。英語小論文及び数学基礎。
(2)面接:個別面接(日本語及び英語)。

3. 出願書類

下記の出願書類①～⑤を、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。
① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※
② 調査書(又はそれに代わる書類)
③ 志望理由書※(Word等のワープロソフトを使用して記入しても構いません)
④ 英語資格・検定試験の合格証明書又はスコアを証明する書類の写し
⑤ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。
※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)。

国際教養学部(国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻)

【Admissions Office型(AO型)】

グローバルスタディーズ専攻の総合型選抜入試では、入学後の学びに必要な英語4技能(聞く・話す・読む・書く力)が備わっているか、グローバルスタディーズ専攻で扱う3分野の学び(Global Relations、Global Communication Studies、Global Cultural Studies)を学ぶ意欲や適性があるか、留学や国際交流に積極的に取り組む意思があるかを総合的に評価します。

※国際教養学部 総合型選抜国際バカロレアDP型入試について
別要項「国際教養学部 総合型選抜国際バカロレア利用入学試験募集要項」をご確認ください。

1. 出願資格

8・9ページに記載の「出願資格等」(1)～(3)に加え、英語能力が以下のいずれかの基準を満たしていること(ただし、2023年10月以降に受検したものに限る)。

1. ケンブリッジ英語検定 154以上(Linguaskillの場合、公開受検のスコアを有効とします。自宅受検のスコアは利用できません。)	2. 実用英語技能検定 CSE 2184以上(受検した級に合格していない場合でも出願可能です。ただし、準2級以上に限ります。英検S-CBT、英検S-Interviewも利用可能です。)
3. GTEC 1097点以上(オフィシャルスコアに限る。検定版、CBTタイプが利用可能です。)	4. IELTSオーバーオール・バンド・スコア5.0以上(アカデミック・モジュールに限る。IELTSコンピュータ版も利用可能です。)
5. TEAP 281点以上	6. TEAP CBT 540点以上
7. TOEFL iBT® 62点以上(団体受験のスコア及びTOEFL iBT® Home Editionは利用できません。Test Dateスコアのみ利用可能です。My Best™スコアは利用できません。)	8. TOEIC® L&R/S&W 1425点以上(IPテストのスコアは利用できません。TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にし、TOEIC® L&Rと合算したスコアとします。)
9. Duolingo English Test 80点以上	

※いずれの試験においても4技能合計のスコアです。

※いずれの試験においても異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。ただし、実用英語技能検定の一次試験免除者については、二次試験受験時に申請した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組み合わせを認めます。この場合、二次試験を2023年10月以降に受検し、取得したスコアを有効とします。

2. 選考方法

	選考方法	選考基準
一次選考	書類審査	調査書、志望理由書、英語能力
二次選考	筆記試験、面接(主として英語)	筆記試験 50%、 出願書類(英語資格・検定試験の証明書を含む) 20% 英語による面接 30%

二次選考詳細 *辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません

試験日:10月11日(土) ※12日(日)ではないので注意してください!

- (1)筆記試験:90分。英語のリーディング・リスニング・ライティング力を問う小問及び英語小論文(コンピュータ入力)。
(2)面接:主として英語で行います。グループ方式。面接時間はグループの人数によります。

3. 出願書類

下記の出願書類①～⑤を、角形2号封筒を使用(「出願書類提出用宛先シート」※を貼付)し、一次選考出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。

- ① 志願票(A票)※・対照票(B票)※・受験票(C票)※
- ② 調査書(又はそれに代わる書類)
- ③ 志望理由書※(Word等のワープロソフトを使用して記入してください)
- ④ 英語資格・検定試験の合格証明書又はスコアを証明する書類の写し
- ⑤ 在学中に留学経験がある場合は、留学時の調査書もしくは成績証明書等を提出してください。

※本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロードしてください)。

入学手続について

合格者宛に郵送する「入学手続要項」に従って入学手続を行ってください。入学手続は、第一次入学手続、第二次入学手続に分かれています。所定の期限までにそれぞれの手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。

1. 入学手続

第一次入学手続	第二次入学手続
1. 新規アカウントの登録(Web入学手続) 2. マイページから入学手続学科・専攻の選択 3. 入学金の納付	1. 授業料等納付金の納付 2. マイページから必要な情報の登録 3. 入学手続書類郵送
2025年11月1日(土)～11月11日(火)	2026年2月28日(土)～3月11日(水) ※郵送は締切日当日消印有効(簡易書留)

2. 2026年度 授業料等納付金

2026年度授業料等納付金は未定のため下記の2025年度納付金額を参考にしてください。合格通知の際に2026年度納付金額を通知します。

参考:2025年度納付金

(単位:円)

【経済学部・人文学部】				
項 目		春学期	秋学期	年 額
一次手続時	入 学 金	240,000		240,000
二次手続時	学 費	授 業 料	400,000	800,000
		維 持 費	160,000	320,000
		学費計	560,000	1,120,000
	委託徴収諸会費*		29,100	29,100
	合 計		589,100	1,149,100
初 年 度 納 付 金 合 計		829,100	560,000	1,389,100

【社会学部】				
項 目		春学期	秋学期	年 額
一次手続時	入 学 金	240,000		240,000
二次手続時	学 費	授 業 料	410,000	820,000
		維 持 費	160,000	320,000
		学費計	570,000	1,140,000
	委託徴収諸会費*		29,100	29,100
	合 計		599,100	1,169,100
初 年 度 納 付 金 合 計		839,100	570,000	1,409,100

・社会学部の授業料には社会学部のカリキュラム上必要な調査や制作等に関連する費用を含みます。

・社会学部グローバル・データサイエンスコースは上記の学費のほかにコース指導料(年間60,000円/入学後)の納付が必要になります。

【国際教養学部】				
項 目		春学期	秋学期	年 額
一次手続時	入 学 金	240,000		240,000
二次手続時	学 費	授 業 料	500,000	1,000,000
		維 持 費	160,000	320,000
		学費計	660,000	1,320,000
	委託徴収諸会費*		29,100	29,100
	合 計		689,100	1,349,100
初 年 度 納 付 金 合 計		929,100	660,000	1,589,100

・国際教養学部国際教養学科経済経営学専攻でPDP履修者は、別途、ロンドン大学授業料と英語研修参加費用等が必要になります。詳細は大学案内、大学公式Webサイトを参照してください。

＜全学部共通＞

***委託徴収諸会費の内訳**

父母の会費6,000円、学会費2,700円、学友会入会金(入学時のみ)4,000円、学友会年会費6,000円、新聞会費400円、同窓会準会員費(入学時分)10,000円。

・授業料等納付金の納付は「全納(春学期／秋学期)」あるいは「分納(春学期)」より選択できます。

3. 入学前教育について

合格者については、大学で学び始めるための準備として、入学前教育を実施しています(英語課題の受講者負担は5,000円程度)。詳細は合格通知時に送付する「入学手続要項」をご確認ください。

4. 入学辞退手続

第二次入学手続完了後、入学辞退を希望する場合は、本学所定の「入学辞退届(納付金返還願)」を2026年3月31日(必着)までに「簡易書留・速達」で郵送してください。入学金を除く「学費及び委託徴収諸会費」を返還いたします。ただし、提出された書類については、返却いたしません。

5. 入学許可の取消し

以下のいずれかに該当する場合は入学許可を取消します。

- (1)卒業見込み等で出願した者が、2026年3月31日までに卒業等ができなかった場合。
- (2)出願書類等に虚偽の記載事項があった場合。

個人情報の取扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、願書受付、入学試験実施、合格者発表、入学手続き及びこれらに付随する業務を行うために利用します。これらの業務の一部を、武蔵大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、委託先に対し、機密保持契約を結び必要かつ適切な管理を義務付けた上で、お知らせいただいた個人情報の必要な範囲を提供します。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、武蔵大学における入学者選抜及び教育改善のための調査の資料として利用します。あらかじめご了承ください。

なお、出願書類については「学校法人根津育英会武蔵学園 個人情報保護規程」に基づき適切に管理いたします。詳細は、下記武蔵大学公式Webサイトの「武蔵学園における個人情報の取扱い」をご確認ください。

<https://www.musashigakuen.jp/privacypolicy.html>

教育・研究充実のための寄付金募集について

本学では、少人数教育の充実と研究体制の維持・発展のために、任意のご寄付をお願いしております。詳細につきましては、入学手続き完了後に、改めてお知らせする予定でおりますが、その際には趣旨をご理解の上、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、募集開始時期は入学後(4月以降)となります。

選考出願料の支払方法

下記のコンビニエンスストア端末より直接お支払いください(インターネット不要)

セブン-イレブン マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払



<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門、
小・中・高校等お支払い

武蔵大学

をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

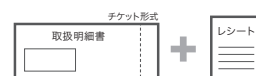
①コンビニエンスストアのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、
30分以内にレジにてお支払いください。



②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

チケットとは「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)のことです。



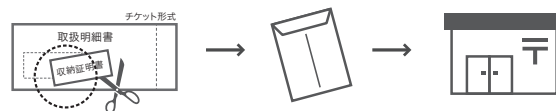
*お支払い済みの選考出願料はコンビニエンスストアでは返金できません。
*お支払期限内に選考出願料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*選考出願料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	選考出願料・入学検定料が5万円未満	550円
	選考出願料・入学検定料が5万円以上	770円

「取扱明細書」又は「払込受領証」の「収納証明書」部分を切り取り、
志願票の所定欄に貼り、郵送してください。

※二次選考を受験する方は、二次選考出願料の「収納証明書」を
受験票の所定欄に貼り、選考当日に受験票を持参してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は
使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問い合わせ先】 武蔵大学 アドミッションセンター TEL 03-5984-3715

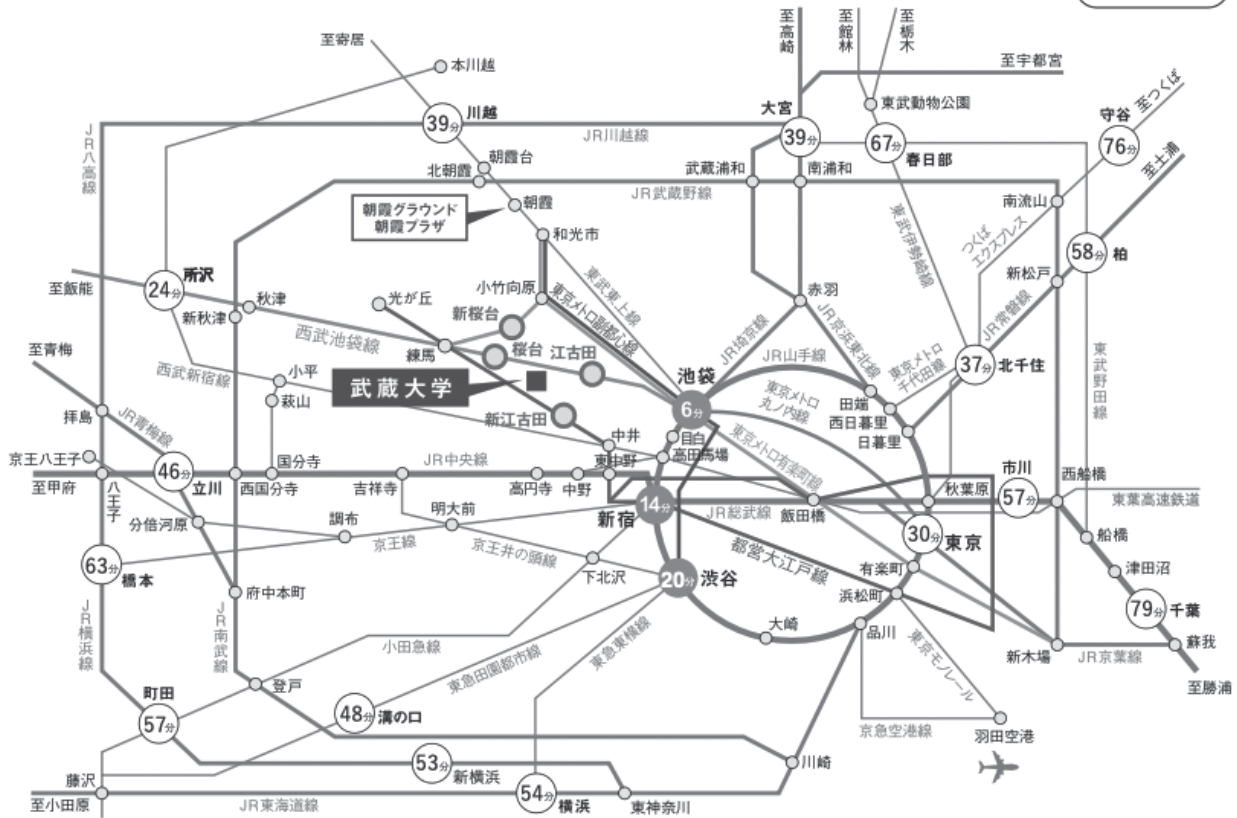
【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニエンスストア店頭ではお応えできません。

アクセス

池袋から**6**分、新宿から**14**分、渋谷から**20**分。
4駅3路線が利用でき、アクセスも抜群です。

※●部分の時間表示は乗車時間のみ。黒字は特別快速や急行等を利用し、乗換え時間を含んだ目安。

最寄り駅までの
およその
所要時間
(分)



■ 最寄り駅からのアクセス

それぞれの最寄り駅から徒歩約7分。都心からも、駅からも便利な好立地です。



■ 主要駅からのアクセス

電車を利用して

池袋駅	西武池袋線	江古田駅	徒歩 6分
	6分		※各駅停車にお乗りください。
新宿駅	都営大江戸線	新江古田駅	徒歩 7分
	14分		
渋谷駅	東京メトロ副都心線	新桜台駅	徒歩 5分
	20分		※小竹向原駅から西武有楽町線となります。
有楽町駅	東京メトロ有楽町線		
	29分		

バスを利用して

中野駅	関東バス (江古田駅行)	江古田駅	徒歩 5分
	31分		
高円寺駅	関東バス・国際興業バス (赤羽駅東口行/赤羽車庫行)	豊玉北	徒歩 5分
	10分		
目白駅	都営バス (練馬車庫行)	武蔵大学前	徒歩 0分
	17分		

武蔵大学アドミッションセンター

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1

Tel.03-5984-3715 FAX:03-5984-3874

www.musashi.ac.jp



武蔵大学